

第1回から第4回までの勉強会のご意見等をまとめてみました。

駅ビルのこと

- はじめから駅ビルありきで考えるのはよくない。
- 駅前に広場をつくるには、やはり駅ビルは必要だろう。
- 1つのビルで総合的なサービスが確保できれば便利になるだろう。
- 大きなビルがなくても楽しいまちがある。
- 鈴蘭台は、まち全体の活性化=まちおこしが必要。1つのビルをつくって終わりではない。

階段や段差のこと

- 高齢者にも優しい、フラットなまちが必要。
- エスカレーターやエレベーターがあれば、お店が1階になくても人通りができる。



アクセス道路のこと

- 駅前を整備するには、駅前へ来る道路の整備もなければいけない。
- タクシーやバスの利用勝手をよくしないと鈴蘭台はよくならない。

駅前広場のこと

- 駅前広場は広いに越したことはないが、現実的に難しい。
- 駅前には、バスやタクシーのスペースが必要である。
- 人が集まり、憩えるスペースが必要である
- 駅前広場が広くて人がいないと寂れた感じがする。
- 1階はロータリー、2階は公園のような広場をとって、立体的に重ねてコンパクトにする方法もある。
- 車をためることより、うまく循環させることを考えたらどうか。

バスのこと

- 駅周辺の魅力施設を利用するには、バスターミナルが必要。
- バスが駅前で回転するのか、バス停で停車だけかで、駅前広場のあり方も変わる。
- 大型バスか、ミニバスか、バスの大きさで交通機能も広場の大きさもかわる。

にぎわいのこと

- 郊外商業地と勝負しようとして駐車場をつくっても対抗できない。
- 駅ビルを建てた冷たいまちにたくない。
- まち全体で統一された販促活動やセールが行われていない。
- 駅前の店は日曜日に閉めているところが多く、日曜日の人通りが少ない。
- まちとして元気になる動きがないと思う。
- 学生が多いことが特徴だが、学生と街の関わりが非常に薄い。
- 地域住民を対象とするのか、学生か、また遠くから人を集めるのかで、駅前の将来像が変わる。

駐車場のこと

- 鈴蘭台には駐車場がなく、商圏が小さくなっている。
- 駅前で大きな駐車場を確保するのは難しい。
- 駅前に駐車場がなくても活気のあるところもある。
- 車ではなく、電車やバスの利用者を呼び込むことを考えるべきだと思う。

いろいろな意見や考え方ができました。これらを踏まえて、具体的なまちのつくり方、進め方の検討が必要です。アイデアも出しながら、現実的なチェックが必要です。

次回は、考え方をいくつか整理しながら、具体的な駅前のまちのつくり方、進め方の検討をはじめます。

※次回：平成12年1月25日（火）午後7時30分より 鈴蘭台自治会館2階
関心のある方はふるってご参加下さい。

連絡先：UR（株）都市・計画・設計研究所 TEL 078-821-6716

（検討作業のお手伝いをしているまちづくりコンサルタント）